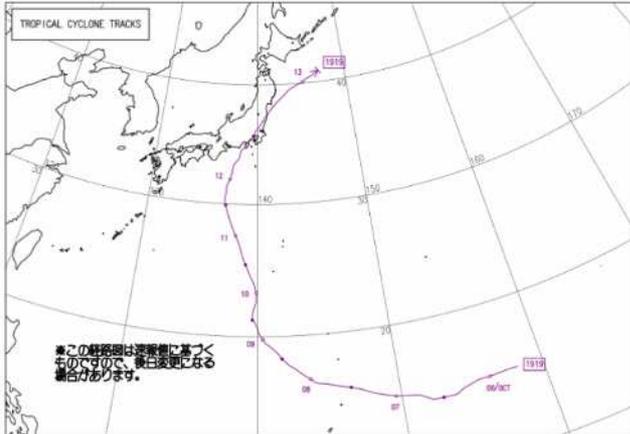


令和元年台風 19 号の概要と県内被害状況

令和元年 10 月 12 日に神奈川県を通過した台風 19 号における、県内の被害状況は次の通りです。

○ 台風概要



名称	令和元年台風 19 号 (ハギビス)
発生期間	R1. 10/6~10/13
最低中心気圧	915hPa
最大風速	55m/s
上陸場所	静岡県伊豆半島
上陸日時	R1. 10/12 19 時前
上陸時中心気圧	955hPa

気象状況	日降水量	箱根	922.5mm	全国歴代 1 位
	1 時間降水量	相模湖	68.5mm	歴代 1 位
	最大瞬間風速	横浜	43.8m/s	歴代 3 位
	最高潮位	小田原	172cm	歴代 1 位

(出典:気象庁 令和元年台風第 19 号等に関する被害状況等について)

○ 県内被害状況 (10 月 28 日現在)

<人的被害>

死者	行方不明者	負傷者	
		(重症)	(軽傷)
7 人	2 人	2 人	37 人

<住家被害>

家屋全壊	家屋半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
41 棟	70 棟	599 棟	37 棟	115 棟

詳しい被害状況については、“神奈川県災害情報ポータル”でご確認ください。

(ホームページアドレス <https://www.bousai.pref.kanagawa.jp/>)

○ 施設等被害状況



○相模川下流

多量の降雨、ダムの緊急放流等による水量の増加及び水位の上昇



○国道 138 号線(箱根)
土砂崩れによる車両通行止め

【トピック】

平成 30 年 4 月に国土交通省が設置した、“気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会”において、治水計画の立案にあたり、これまでの実績降雨を活用とした手法から、気候変動により予測される降雨を活用する方法に転換することなどを盛り込んだ提言、「気候変動を踏まえた治水計画のあり方」を、令和元年 10 月に取りまとめ、公表しました。

県内で発生した大規模な自然災害については、今後も被害等の情報提供を随時行ってまいります。